

Linda Bruce(リンダ・ブルース)の軌跡



【リンダ・ブルースさん永眠 享年59歳】

バルーン業界において、著名人 Linda Bruce (リンダ・ブルースさん) が、かねてより病気療養中のところ6月5日金曜日の晩に、家族に見取られ安らかにご逝去されました。(享年六十歳) 心よりご冥福をお祈り申し上げます。彼女のバルーンビジネスにおける熱意・功績は、業界に携わっている方なら誰もが知っているはず。バルーンビジネスの経営知識に溢れ、バルーンデリバリーとデコレーションビジネスで成功を収めるなどの活躍をされていました。今までに数々の賞を受賞している中でも、2003年に最も名誉とされる『IBACクリスタル・アワード』を獲得。独立を経て、バイオニアバルーン・カンパニーに所属してからは今までの経験を活かし、リテイル教育マネージャーとしてアメリカ国内だけでなく、世界中の教育セミナーにクラスを教える事に励まれました。



Linda Bruce (リンダ・ブルースさん)
享年59歳



11:00 ジャストにリリース。当日は天候も良く、風も穏やかでゆっくりと空へ舞い上がっていきました。



弊社岸ゴムでも追悼の意を込め、バルーンリリースを決行

リンダさんは、いつも楽しく明るい雰囲気で周囲をリラックスさせてくれる方でした。常に周りに笑顔を誇る彼女の微笑み、そして数多くの感動を与えた彼女の愛は永遠に人々の記憶に残る事でしょう。

六月十一日(木) リンダさんの自宅カルフォルニアで葬儀が行われました。葬儀後、リンダさん追悼の意を込め、日本時間六月十二日(金) 午前十一時／アメリカ時間十一日(木) 午後十九時同時に世界中でバルーンリリースが行われました。日本でも全国各地でリリースが行われ、天国にいるリンダさんへ届いた事でしょう。

ジャパンバルーンタイムズ



協力:日本バルーン協会
制作:岸ゴム株式会社

バルーンショップ紹介

名古屋市：バルーンショップBAP



名古屋市覚王山にあるバルーンショップBAPさんは、ショッピングとカフェが併設という珍しいスタイル。

「注文した商品ができるまでの時間をお客さんがゆっくり過ごせるように」と、カフェを併設しましたが、「カフェがあることで入りやすい雰囲気を出す」という狙いも。実際男性のお客様一人での来店も多く、また外から見ると何のお店か気になるということで、何度も通りかかるうちに来店される方も多くいらっしゃるという。店内には数々のバルーンブーケや単体のバルーンがきれいにディスプレイされており、ゆっくりと眺めることができます。飾られている商品を買うこともできますが、こちらのお店が最も力を入れているのがオーダーメイドのバルーンギフト。お客様から丁寧なヒアリングをし、イメージを膨らませて作った作品には、既成品のギフトとは全く違う、「世界で一つだけ」の魅力があります。そんな魅力ある商品を提供するために、あえて今までやっていたネットショップもやめ、お客様と必ず話をして、その中で出てきたイメージを大事に作品を作っています。そうした一人一人のお客様を大切にする営業方針のため、口コミや紹介でお客様が増え、自然とお客様との付き合いは長いものになるようです。近隣の方はもちろんのこと、京都の祇園などの遠方のお客様からも定期的に注文を受けているとのこと。

代表取締役の太田さんは風船が「もらえるもの」というイメージしかなかつた時代から、「買ってでも欲しい」というものにするために力を注いできた方。それだけに、時代の流れに流されることなく、「本当に価値のあるもの」にこだわり続けている。「他と争うのではなく、自社のカラーでお客様を惹きつけることが大事」と語る言葉に確かに自信と力強さを感じた。



七夕短冊風船紹介



カンボジアでのリリース模様



短冊に願い事を書き込んで・・・

4年連続となる徳島でのイベント模様

7月7日の7時7分に約600個の七夕短冊風船が放たれる

通常バルーンリリースとして利用する主なバルーンは丸型のものですが、このバルーンは646Qといわれる長細いタイプのもので、そのスペースをうまく活用して短冊のプリントが施されている。

この短冊部分へ願い事を書き込んで、バルーンリリースをすると言つたアイデア商品。この商品を開発されたアンズバルーンコレクションさんは、地元徳島において4年連続『七夕バルーンリリース』のイベントを開催しており、定着したイベントとなつていています。

同アンズバルーンコレクションさんは、今年海外でのイベントを決行し、カンボジアでも七夕バルーンリリースが行われた。イベント性がとても高い商品なので、全国各地でも夏の風物詩としてもっと利用して欲しい。

七夕短冊バルーンは夏の始まりを告げる。